

## 【平成29年度 第1回 男女共同参画懇話会議事要旨】

日 時 平成29年5月25日（木）10:00～11:30  
場 所 市役所 本館3階 会議室2  
出席者 委 員…青木、大野、緒方、河合、斎藤、鈴木、三輪、望月  
事務局…樋口課長、濱島課長補佐、馬場係長、牧野  
傍聴者 0名

### 1. あいさつ

副市長より挨拶

### 2. 委嘱状交付

- ・代表として出席委員の中で50音順最上位の「青木廣康」委員に副市長より交付
- ・その他の委員については、席に配布にて省略
- ・交付後、懇話会委員、事務局の自己紹介

### 3. 議題

#### (1) 会長及び副会長の選出

- ・会長は豊明市外国籍市民施策懇話会運営規則第5条第2項の規定より委員の互選。緒方委員より望月委員が推薦され、他委員より異議なく望月委員を会長とする。
- ・副会長は同条第4項の規定により会長が指名、三輪委員を副会長とする。（以後、会長が議事を進める）

#### (2) 平成28年度男女共同参画事業実績について（事務局から説明）

- ・講座「らしく」について、記載の参加者人数は多いか。  
→参加者は3回の講座の延べ人数で多いとは言えないが、講師に自由に質問ができる余裕のある人数であり、受講料も手ごろである。  
→アピールの仕方をもう少し考えるとよい。  
→単独で集客するのは難しいので、子どもが参加するイベント等とコラボしてはどうか。
- ・父子料理講座の参加者人数はどうか。  
→人気のある講座で、調理室が利用できる定員いっぱいまで参加していただいている。
- ・イラストについては、どのくらいの応募があったのか。  
→名古屋学芸大学の学生3名（数点ずつ）から応募があった。
- ・高校生向け理解講座について、学校でこのような講座を開催することは難しいので、今後も継続実施してほしい。また、LGBTの内容も盛り込んではどうか。
- ・推進担当者研修について、研修内容にある育児休業取得者について、昨年度は何名取得したか。  
→4名取得。
- ・新規採用職員研修について、若い世代は吸収力があるが、もう少し上の世代についても

働きかけが必要である。

### (3) 第3次とよあけ男女共同参画プランの進捗状況について (事務局から説明)

#### LGBTに対する今後の取り組みについて (事務局から説明)

(プランについて)

- ・それぞれの数値について、どのように考えているか。(虐待・DV、待機児童、がん検診、管理職、町内会長・区長…)  
→取り組み施策の成果など、今後何らかの傾向が見られる。あくまでも現在の数値を記載しているので、ある程度長いスパンでみていただきたい。

(LGBTについて)

- ・学校現場ではいじめに、職場ではハラスメントに繋がる非常にデリケートな問題である。
- ・実態が見えない状態で情報発信をしても意味がないので、まずは実態の把握が重要だと思うが、どのように進めていくか。  
→取り組みが進んでいる自治体で、どのように実態を把握しているか確認する。
- ・若い世代の方が敏感であると思うので、学生団体やNPOとも関わりを持つことが重要である。
- ・どの年代から働きかけるか非常に難しい。
- ・これまでは、男女という観点で進めてきたが、今後は一人ひとりの存在として考え、違った視点を持ち取り組んでいかなければならない。
- ・懇話会で、市として取り組む課題として意見書を提出する。

### (4) とよあけ男女共同参画フェスタについて (事務局から説明)

- ・「彼らが本気で編むときは、」は、いろいろな立場の人の思いが丁寧に描かれており、セクシャルマイノリティについて、市民に意識喚起できるのでは。集客も期待できそう。
- ・上映会を実施した場合、時間がかかるので、1部の表彰式をある程度コンパクトにできるとよい。  
→代表者だけ表彰してはどうか。  
→表彰は重視しないと次へ繋がらない。充実させながらコンパクトにする方法を考えるべきである。  
→表彰式への参加者が少なく、1部と2部で途切れてしまう印象がある。1部・2部を合体させて、全体で男女共同参画フェスタとして考える。
- ・「武士の献立」もいい。

## 4. その他

### (1) 男女共同参画川柳・標語の選考について (事務局から説明)

- ・一次選考委員について、大野委員、河合委員、斎藤委員で決定。
- ・選考スケジュールについては、後日選考委員へ個別連絡。

次回開催日について

9月の下旬で日程調整を行う。